



な ら

6月



HP : <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nara> ナラッキー

## 学び続けること

校長 岡村 眞

先日の朝会で、「先生たちも学んでいるんだよ」という話をしました。教員も子どもたちと同じように日々学んでいます。日々の授業を良くしていくために、本校は今年度から算数を学校として研究していくことにしました。朝会で話した「先生の学び」とは、この算数について、放課後の時間を取って先生全員で算数の授業について講演を聞いたり、ワークショップをして話し合ったりしたということです。先生たちが授業について、真剣にそして楽しそうに意見を出し合っていました。

教員は教育基本法で「絶えず研究と修養に励む」こととされています。放課後の先生たちは普段から授業について考えたり話し合ったり、他の学校や施設に行って研修に参加したりしています。日々、「授業を良くしよう」「子どもたちにわかりやすい授業をしよう」と考えたり工夫したりしたことが積み重なって先生たちの力が付き、子どもたちにより良い授業をできることとなります。

これは、子どもたちの学びにおいても全く同じことが言えます。漢字や計算、運動の技能といった「〇〇ができるようになった」という成果の裏側には、日々の小さな工夫や思考の積み重ねがあります。その過程で子どもたちは、自分とは異なる友達の考えに触れ、視野を広げていきます。子ども達は授業のなかで学びながら、「整理して考える力」や「他者と協働する力」というような様々な力が子ども達に身に付いていき、これから主体的により良く生きていく力が育まれていきます。

大人はどうでしょうか。多くの仕事では新しい知識やスキルを身に付け続けていくことが求められます。これは生きるうえで必要となる「学び」です。また、読書や動画視聴、旅行のように様々な楽しみの中には、人生を豊かにする「学び」があります。その「学び」一つひとつが今の自分をより良くつくっていくのだと考えています。子どもの時期に「学び」の良さをたくさん体感し、その先の人生において主体的に「学び」を獲得していくための素地を作っていくことが学校や教員にとって、大きな使命の一つであると考えています。



### ☆6月はサッカーW杯が開催されます!

三苫選手がケガでメンバーにはなりませんでしたが、長友選手が5大会連続で本大会メンバーに選出されました。今の高校1年生が生まれた時からW杯に出場し続けているなんて、驚きますよね。日本の初出場から28年、



日韓共催から24年経ち、保護者の方でも日本で開催された時の記憶がない方がいそうで時の流れを感じていますが、毎回興奮とドラマがあるW杯です。次の学校だよりが出る6月末に日本代表が勝ち進んでいることを期待しています。

**日韓共催大会の決勝は横浜でした!**